

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)

1. 建物概要

建物名称	特養白根そよ風の杜	
建設地	南区 能登字前535番地1他3筆	
用途地域	第一種低層住居専用	
建物用途	病院,	
竣工年	2014年3月 予定	
敷地面積	6,759.72 m ²	
建築面積	2,006.50 m ²	
延床面積	5,451.00 m ²	
階数	地上3F	
構造	RC造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2013年6月3日	

2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{48}{41} = 1.1$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	2.6		バリアフリー	3.0
			維持管理	2.5
			更新性	2.2
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	3.2		耐震・免震	3.8
			信頼性	2.6
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.5		建物の熱負荷抑制	3.0
			自然エネルギー利用	4.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	2.0		節水	-
			リサイクル材の使用	1.0
			再利用可能性向上	3.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	2.5		生物環境の保全・創出	2.0
			敷地内温熱環境の向上	3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	3.5		まちなみ・景観への配慮	4.0
			地域性への配慮、快適性の向上	3.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

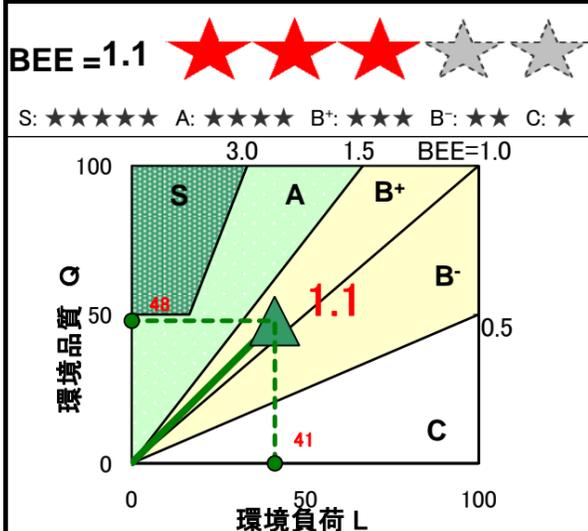
- 新潟市の重点項目に関する配慮事項を記載してください。
- 地震への取組み: 耐震性を向上させた、保有水平耐力/必要保有水平耐力=1.28
 - 大雨への取組み: 建物下部に45m³の雨水貯留水槽を設けた
 - 4-1. 自然エネルギー利用の取組み: 太陽光発電を採用した
 - 4-2. 地球温暖化対策のために: CO₂排出量の少ない熱源(都市ガス)・方式(高効率ガスビル用マルチエアコン室外機)の採用とした。またLED照明の積極的な採用により省電力となりCO₂排出量を抑えた。

CASBEE®新潟

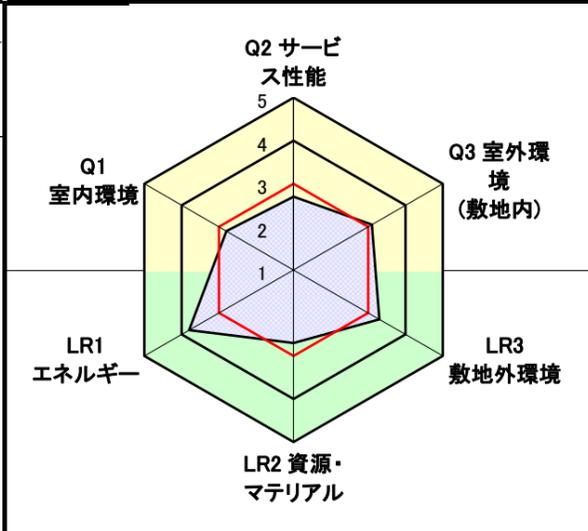
評価結果内訳

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)

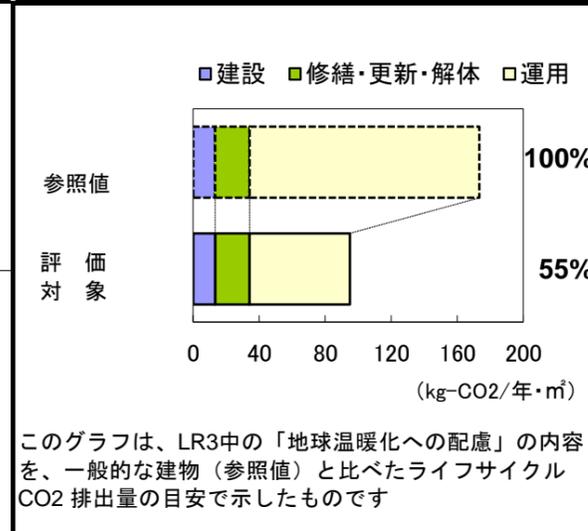
2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)



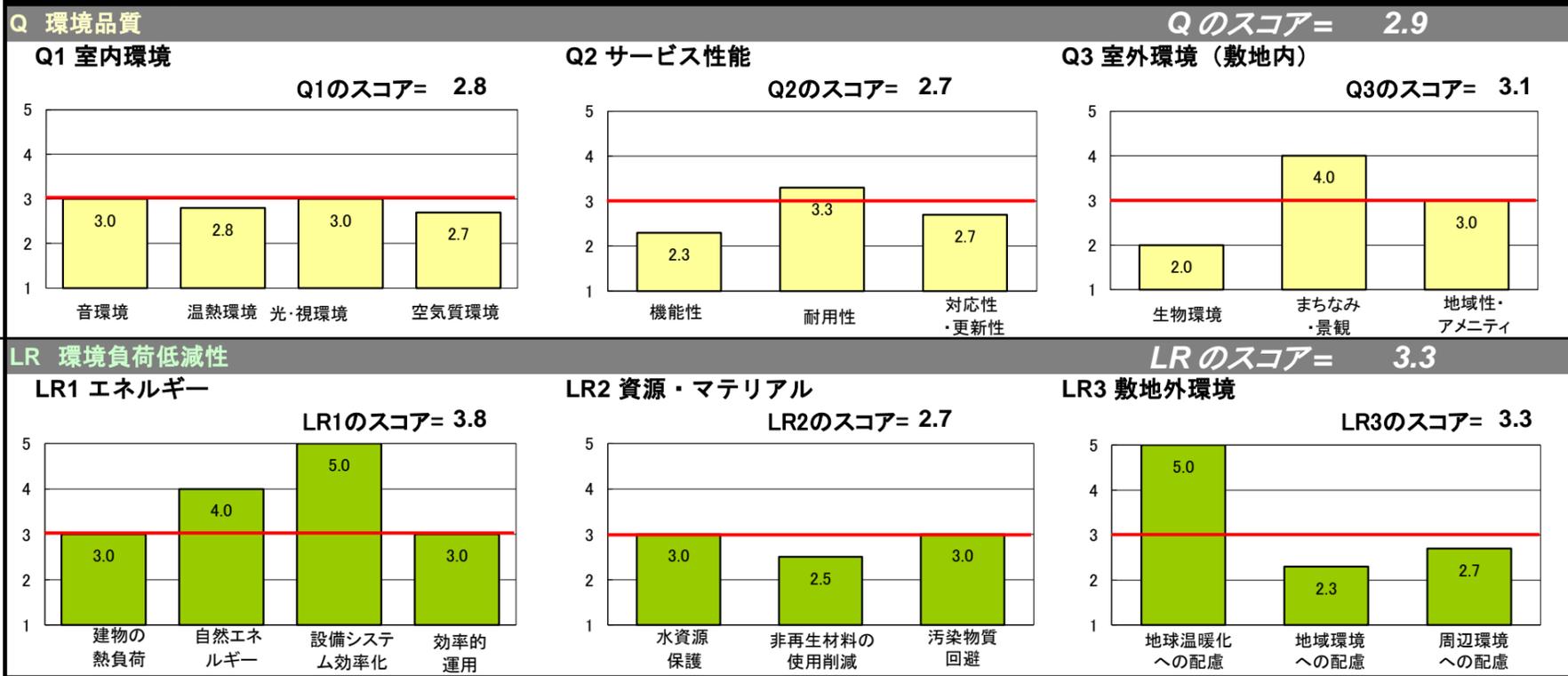
2-2 大項目の評価 (レーダーチャート)



2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-4 中項目の評価 (バーチャート)



2-5 設計上の配慮事項

<p>総合</p> <p>注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。1種住居専用地域内に設置ということで、周辺、近所に対しての配慮を重点的に配慮をする。1. 周辺の環境や建築物との調和を図り圧迫感や突出感を与えないようにするため外観の基調色はマンセル値で彩度6以下、明度4以上となるよう計画する。2. 緑化等で目立たないよう工夫する。3. 敷地境界部は生垣による緑化を推進する。4. 道路から直接駐車する方式を避け</p>	<p>その他</p> <p>注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。1. エネルギー消費の一番多い空調機を高効率GHP室外機を採用 2. 自然エネルギーの太陽光発電を積極的に採用、屋上にできるだけ多く設置した</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p>
	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>注) 「Q3 室外環境 (敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。1. 敷地内に広く空地を確保し、緑地を設けた。2. 敷地の境界側は緑地を設け緩衝帯とした。</p>
	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。1. 建物は、敷地北側に配置して日陰の影響が敷地外に及ばないようにした、また境界からも十分な距離を確保し周囲のプライバシーにも配慮した。2. 駐車上の出入りで迷惑とならないよう、敷地</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される